

# 第3期野々市市保健事業実施計画 (データヘルス計画) ー概要版ー

## ◆計画策定の趣旨

本市では、国民健康保険法に基づく「保健事業の実施に関する指針」に基づいて、被保険者の健康を増進し、医療費の適正化及び保険者の財政基盤強化を図ることを目的に、これまで第1期データヘルス計画及び第2期データヘルス計画を作成し、中間評価・見直しを行うなど、計画に基づく保健事業の実施に取り組んできた。

この度、第2期計画が令和5年度末で終期となることから、これまでの取組を評価、見直しを行い、新たに「第3期データヘルス計画」を策定する。

## ◆第3期計画の期間 令和6年度から令和11年度

## ◆計画の位置づけ

本計画は、健康増進法に基づく「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」をふまえ、「野々市市健康増進計画」や「野々市市介護保険事業計画」と整合性を図るもの

## ◆第2期計画の評価

- ・特定健康診査受診率(目標値 55%以上)・特定保健指導実施率(目標値 70%以上)  
→ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことが重なり、目標未達成
- ・特定保健指導対象者の減少率(目標値 20%以上) → 目標未達成(16.5%)
- ・脳血管疾患、虚血性心疾患の医療費に占める割合(目標値 5%以下)  
→ 達成(脳血管疾患 3.5%、虚血性心疾患 3.9%)
- ・メタボリックシンドローム・予備群の減少率(目標値 20%以上)  
→ 目標は達成(20.3%)したが、年々改善率が低下
- ・健診受診者の高血圧者の割合(目標値 5%以下) → 達成(3.6%)
- ・健診受診者の脂質異常者、糖尿病者の割合(目標値 5%以下)  
→ 目標未達成(脂質異常者 7.4%、糖尿病者 11.5%)

## ◆野々市市の現状(介護・医療・健診データの分析)

### 介護の状況

- ・要介護(要支援)第1号被保険者認定率 石川県、国より低い
- ・要介護認定者の血管疾患の有病状況 虚血性心疾患や脳卒中の有病率が高い
- ・基礎疾患である高血圧、糖尿病、脂質異常症等の有病状況  
第2号被保険者で 88.9%、第1号被保険者で 93.8%と非常に高い

## 医療の状況

- ・国民健康保険の被保険者一人あたりの医療費 増加（特に入院が顕著）
- ・後期高齢者一人あたりの医療費 減少しているが石川県、国より高い
- ・脳血管疾患の総医療費に占める割合 減少しているが石川県、国より高い
- ・虚血性心疾患が占める割合  
減少したが、国保は国より高く、後期も石川県、国より高い。
- ・後期の糖尿病の割合 石川県、国より高い

## 健診の状況

- ・特定健康診査受診率・特定保健指導実施率 低下
- ・年代別受診率 年代が高くなるほど高い  
70歳代…60.6% 40、50歳代…30%未満
- ・健診及び医療機関未受診者の割合 増加
- ・メタボリックシンドローム該当者 増加 石川県、国より高い
- ・高血糖または高血圧と、脂質異常を持つ者 石川県、国より高い
- ・高血糖、高血圧、脂質異常のいずれも持つ者が、国より高い

### ◆第3期計画における健康課題と目標 \_\_\_\_\_ は今期 取組強化を図るもの

- ・糖尿病性腎症による透析、虚血性心疾患、脳血管疾患による医療費の伸びの抑制
- ・脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するため、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドロームの該当者の減少  
＜新たな評価指標＞ 健診受診者 HbA1c5.6～6.4%の割合 50%未満  
75g 糖負荷検査の実施割合 20%以上
- ・生活習慣病発症予防、重症化予防のための健診・保健指導の実施

### ◆主な取組

- ・健診の機会を提供し、状態に応じた保健指導の実施
- ・医療受診が必要な人には受診勧奨、治療中の人には必要に応じて医療機関と連携し、保健指導を実施
- ・自らの生活習慣病のリスク保有状況を知り、その対策をとる人を増やすため未受診者への健診受診勧奨
- ・生活習慣病の重症化による医療費や介護給付費等の実態、生活習慣病に関する健康情報を、広報や健康教育等の機会を通じて広く普及啓発

### ◆計画の評価・見直し

- ・毎年度、個別保健事業について進捗状況等を把握、評価を行う。進捗状況に応じて、体制や実施過程の見直しを行う。
- ・計画の最終年度となる令和11年度にデータヘルス計画全体の評価、見直しを行う。必要な場合は中間年となる令和8年度に進捗管理のため中間評価を行う。